

梅林台、急傾斜地崩壊対策工事に着手しました。

8月30日、梅林学区集会所でおこなわれた梅林台の急傾斜地崩壊対策事業の住民説明会に出席しました。梅林台とは、安佐南区八木3丁目37番・38番・39番にあたる地域で、今回お住いの方から、急傾斜地対策の要望がありました。急傾斜地とは、傾斜度が30度以上ある土地のことで、通常「崖」と呼ばれます。崖の適正な管理には大変な労力と経費が必要になります。

まず、これまでの経緯をご説明しますと・・・。

- ①1月12日 広島県知事、広島市長あて「急傾斜地崩壊対策事業施工要望書」が梅林台自治会長より届けられました。
- ②3月7日 海徳ひろし事務所に梅林台自治会長より土砂災害特別警戒区域 1-1-5602 八木3丁目の急傾斜地に対する崩壊防止工事実施の要望書が届けられました。
- ③3月30日 安佐南区長、復興工事事務所長海徳で協議。
- ④4月13日 広島県西部建設事務所、安佐南区役所、海徳で協議。
- ⑤4月26日 復興工事事務所と現地調査。自治会長、地元住民から要望を聞き取り。
- ⑥5月 2日 安佐南区役所、広島県西部建設事務所、海徳で現地調査。



安佐南区役所、広島県土木建築局、西部建設事務所
このたびの説明会となりました。

広島県の協力のもと、
いよいよ事業がスタートしました。
工事完成までいっそう
気を引きしめてまいります。

住民説明会

8月30日19時より、梅林学区集会所で安佐南区役所農林建設部地域整備課から住民の皆様への説明会がおこなわれました。

対策事業の流れは、

- ①測量
- ②急傾斜地崩壊危険区域の指定(広島県)
- ③無償借地契約(広島市と地権者)
- ④工事着手 となります。



海徳ひろし 日々の活動

選出区：安佐南区 会派：広島市民クラブ
所属委員会：文教委員会、安全・安心まちづくり対策特別委員会、広報委員会

海徳ひろしの日々の活動はホームページのブログをご覧ください。

ホームページ <http://kaitoku-asaminami.jp/>

海徳ひろし

検索

安佐南区から未来を開く!

広島市議会議員(安佐南区)

2016
Vol.2



海徳ひろし

市政報告

広島市民クラブ

〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 TEL:082-504-2771 FAX:082-244-1422
この海徳ひろし市政報告は、広島市民クラブの承認を得て発行しています。

ごあいさつ

皆様、こんにちは。広島市民クラブの海徳ひろしです。今年是我たちの広島市でさまざまな出来事がありました。5月27日、アメリカのオバマ大統領が現職大統領として、はじめて広島を訪問されたことは、恒久平和を祈念する広島市民には、大きな期待を抱かせる出来事でした。そして、広島が一気に躍動したのが25年ぶりのカープ優勝です。緒方監督の「広島のみなさん、おめでとうございます」という絶叫に、黒田選手と新井選手が涙して抱き合うシーンに、大きな感動をもらいました。私にとってこれほど誇らしい瞬間はありませんでした。こうした輝かしい広島が、これからもっと輝いていくために、わたしたち政治に携わる者に課せられた使命は大きいと思います。未来につながるまちづくりに精いっぱい努めてまいります。

緑井3丁目の市道改良に着手

昨年、安佐南区緑井3丁目の住民の方々から市道の横に流れる岩谷川を暗渠化(ふたをすること)してほしいという要望を受けました。通学路でもあるこの市道は、道幅が狭く、車両の通行量が多いという問題を抱えていました。地域整備課が検討を重ねた結果、整備案がまとまりました。(担当:安佐南区役所 地域整備課)



交差点工事

9月3日17時頃、緑井の市道交差点で発生した事故を契機に、交通安全対策を施しました。①T字路の重なり箇所にカラー舗装 ②『減速』の路面標示では効果希薄のため、破線・マークへ変更の2点を実施しました。(担当:安佐南区役所 維持管理課)



川内小学校体育館

川内小学校からの相談で、体育館の床コーティング剥離の修繕を実施します。(担当:教育委員会施設課)



大町東第2公園

「公園に掃除用具の物置を」との要望があり設置が完了しました。(担当:安佐南区役所 地域整備課)



これからもお困り事、市政への提案、要望などお聞かせください。

一般質問

平成28年第3回広島市議会定例会 9月26日(月)

広島市民クラブを代表しまして一般質問に臨みましたので、その模様を整理してご報告させていただきます。



広島豪雨被災地の復興まちづくりについて

豪雨災害から早いもので2年が経過しました。災害の経験を活かし新たな街づくりに向けた取組も活発におこなわれ、本年には復興まちづくり協議会も設立されました。住民発で災害に強い街づくりに取組むという趣旨に賛同し、私も同協議会の顧問を務めさせていただきます。今後も地域の皆様と十分に対話を重ねながら支援を続ける覚悟です。



質問

被災地は早期復興に向け基盤整備が着々と進んでいます。今後これら整備を踏まえた活力のある街づくりを市と地元が一緒になって進めていく必要がありますが、広島市の考えはいかがですか？

回答

現在、国や県と連携して砂防堰堤や避難路等の基盤施設の整備に全力で取り組んでいます。特に梅林学区では復興まちづくり協議会が設立されました。広島市では協議会に対し、コンサルタントの派遣、職員の参画などの支援をおこなっています。これまで地域の方々との話し合いの中で、生活道路の改善、更地を活用したコミュニティ活動の場や避難時の一時集合場所の確保などの意見が出ています。今後も復興まちづくりプランの作成を地域の皆様と十分に対話を重ねながら支援してまいります。

毘沙門踏切の拡幅について



質問

緑井駅に隣接する毘沙門踏切は、幅員が6mと狭い上に歩道がなく、歩行者は自動車などに遠慮しながら恐々と通行しています。踏切を早急に拡幅していただきたいと思いますが、市のお考えをお聞かせ下さい。

回答

同踏切は歩道がなく危険であるため、踏切の前後50mの区間について、拡幅整備に取り組んでいます。これまで北側用地の一部を取得していますが、引き続き残りの用地取得に努め、さらにJR西日本との協議をすすめ、早期に拡幅整備が完了するよう取り組みます。



広島市における幼児教育の取組について



私は幼児期の教育の重要性を、広島市私立幼稚園PTA連合会の委員の活動を通じ、また幼稚園の3年間での子どもたちの成長を目の当たりにして、強く感じているところです。次代を担う子どもたちにとって、質の高い幼児教育が大きな影響力をもっていることから、私は幼児教育を担っている公立・私立幼稚園の役割が一層高まっていると考えております。

質問

松井市長は幼児教育の重要性をどのように認識しておられますか。そしてその認識のもと、今後どのような方向性で取組を進めていこうと考えているのでしょうか？



松井市長の回答

幼児期の教育は子どもが成長を遂げていくための、生涯にわたる人格形成の基礎を培う、きわめて重要なものであると認識しています。この認識のもとで、教育委員会とこども未来局が緊密に連携をとりながら、公立・私立の幼稚園・保育園・認定こども園とともに、こどもの成長への思いを共有し、一体となって広島ならではの幼児教育を推進してまいります。

そこで、私が設置し招集する広島市総合教育会議では、昨年度から教育委員の方々や幼児教育の在り方についての議論を重ねてきています。将来を見据えた幼児教育の水準や受け入れ態勢の充実をはかる取組の方向性について、今年度策定する広島市の教育大綱に盛り込んでいきたいと考えています。



「絆花壇」活動を始めました。



広島豪雨土砂災害の発生から2年が過ぎたこの夏。安佐南区役所が被災地をマリーゴールドの花でいっぱいにする『絆花壇』の活動を始めました。この活動は、平成26年8月20日広島豪雨災害の犠牲者の追悼の意を表し、災害の記憶を継承していくため、区民ボランティア、企業及び区内の小学校

の参加により、夏の被災地を花いっぱいにする取組です。

被災から2年という節目の日には、八敷福祉会のみなさんとともに植えた八敷公園の『絆花壇』と慰霊碑を前にして、犠牲者の鎮魂と、二度と悲劇を繰り返さないことを固く誓いました。

被災地の一日も早い復興を願い、被災地に元気を届けるためにはじめた『絆花壇』。今後も被災地の早期復興のため、さまざまな活動を進めてまいります。

